

## ～自転車安全教室が実施されました～

5月26日（金）本校体育館にて自転車安全教室が実施されました。白山警察署の警察官2人が来校され、自転車乗車時のマナーやこれまでの経験から事故が起きそうな場面や実際に起きた事故について話をされました。生徒たちは真剣なまなざしで話を聞いていました。誰しも自転車に乗る機会があったり、本校1年生も自転車通学生が何人もいます。今後もヘルメット着用や通行禁止地帯を通らない、乗り方のマナーなどのルールをしっかりと守り、安全に十分配慮し自転車を活用してほしいと思います。

### ※自転車安全教室での様子



### 【生徒の感想】

- ・見通しの悪いところ（死角）には、かなり気を付けたいと思いました。自分はヘルメットを必ず着用するように意識したいです。（1組）
- ・実際の石川県の事故を資料やグラフを用いてくれたので「なるほど」と思いました。今日は丁寧に教えてくださりありがとうございました。（2組）
- ・自転車が自動車の死角に入って見えなくなり、衝突するというのが怖いと思いました。自分では危険と思っていなくても自動車の視線からするととても危ないことだと分かりました。（3組）
- ・今日の自転車教室で改めてヘルメットの大切さを知りました。いつもの登下校時はヘルメットをつけるが、日常生活や遊びに行くときもヘルメットをしようと思いました。（4組）
- ・「ヘルメット」の大切さを学びました。頭を守ることは、もしも事故が起きた時すごく大事だからこれから普段利用するときもかぶっていこうと思いました。（5組）
- ・今日のお話を聞いて、「いい」と思った交通ルールが本当は違反で、逆に「ダメ」だと思っていたルールが「よかった」などの新しい知識を得ることができました。（6組）
- ・実際に事故にあった経験から、標識は無視してはいけないと感じていました。今回の警察の方の話を聞いてさらに標識の重要性を実感しました。（7組）
- ・ヘルメットがあるだけですごく守られているということを知ったので、ヘルメット着用の意識がさらに高まりました。（8組）